

岩手県自殺予防情報センターニュースレター

2013.3.29
No.60

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化すべく、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。皆様からの情報やご意見をお待ちしております。

今月号は、「自殺予防民間団体等リーダー研修会」の報告を特集しております。また、精神保健福祉センター主催の研修会のご案内や関連資料を掲載いたしました。是非、ご活用ください。

ニュース

自殺予防対策のより一層の取組みを

警察庁の自殺統計に基づく自殺者数等の推移

平成 25 年 3 月 21 日に内閣府から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」によると、全国の平成 25 年 2 月の自殺者数(2,125 人:暫定値)は、対前年同月比 38 人(約 1.8%)減となりました。しかしながら、1~2 月の累計自殺者数(4,554 人:暫定値)は、対前年比 123 人(約 2.8%)増となりました。岩手県においては、1 月、2 月とも前年同月比を上回っています。より一層、自殺予防対策の取組みの強化が求められます。

	平成 24 年 2 月(確定値)		平成 25 年 2 月(暫定値)		自殺者数対前年同月比	
	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	増減率(%)
全国	2,163	1.7	2,125	1.7	△38	△1.8
岩手県	16	1.2	20	1.5	4	25.0

こちらのページから参照できます。

↓

内閣府 自殺対策

<http://www8.cao.go.jp/jisatsutai/saku/toukei/index.html>

自殺統計(警察庁リンク)

<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/H25tukibetsujisatsusuya.pdf>

トピックス

自殺予防民間団体等リーダー研修会を開催しました

3 月の自殺対策強化月間を前に、2 月 13 日に自殺予防民間団体等リーダー研修会を開催しました。自殺予防対策に取り組む民間団体等のリーダーが出席し、傾聴スキルを高め、団体内においてスーパーバイズできる知識を習得するとともに他団体との意見交換を行い、互いの活動について情報交換することで、活動力を高めエンパワーする機会としました。

プログラムは、「ボランティア・ミシガン研修に参加して」と題し、平成 24 年 10 月 22 日~26 日において、アメリカミシガン州アンナーバー市へ研修に参加した 釜石地域傾聴ボランティアはなみずき代表 太田フジ江氏と宮古地域傾聴ボランティア支え愛副代表 田村俊司氏から報告がされました。ボランティア先進国であるアメリカで研修と実習が行われ、なかでもホスピス施設での研修でスピリチュアルケアについて学び「なぜ、人は生きているのか、なぜ死ぬのか?」という問いかけに正面をきってボランティアが傾聴していたのが印象的でしたとの報告がされました。

また、昨年 9 月に行われた自殺予防民間団体等活動交流会において、傾聴ボランティア団体の安定した活動資金の確保が難しいという課題がだされ、今回のリーダー研修会では、「使える補助金・助成金について」「インターネット活用による情報収集について」の情報提供を行いました。

午後には、岩手県精神保健福祉センターの職員による講義「傾聴ボランティアに必要な傾聴技術とその方法~自殺のリスク評価と対応を中心に~」が行われ、自殺を考えている人の支援のために、自殺のリスク評価及び具体的に社会資源につなげる方法について学びました。研修会に参加したリーダーの皆さん、研修内容を持ち帰り所属会員へ伝達し、地元で実践していくこととしています。



問合せ

岩手県精神保健福祉センター

担当: 大森

☎019-629-9617

最後のセッションでは、情報交換会として『死にたい』と言われた人にどう対応しているか？』をテーマにグループに分かれて意見交換を行いました。実際、傾聴活動を通し、様々な方々に関わっている様子が伝えられ、中でも、実際傾聴していた方に自殺されたことでサインに気付くことができなかったと傾聴ボランティアが抱えてしまったエピソードについて紹介されました。また支援を行う者として、どう心の整理を行えばよいかや、話の閉じ方など具体的な質問がだされ、共有しました。

本県における自殺予防活動民間団体は、平成 25 年 3 月現在、26 団体となっています。

インフォメーション

★ 平成 25 年度精神保健基礎研修会

精神疾患の基礎知識や精神障がい者への対応等の基礎的な知識と技術を学ぶことを目的とした研修です。

日時：【1日目】平成 25 年 4 月 16 日(火) 10:00～15:40 (受付 9:30 から)

【2日目】平成 25 年 4 月 17 日(水) 10:00～16:30 (受付 9:30 から)

会場：エスポワールいわて 2 階 大ホール (盛岡市中央通 1-1-38)

対象：市町村、保健所、相談事業所等で精神保健福祉業務を担当する者。なお、1 日目の受講は、精神保健福祉の経験年数が 3 年未満の者を対象とする。

内容：【1日目】

講義「精神不調の見立てと対応の基礎」

講師 精神保健福祉センター所長 黒澤 美枝

「精神障害者の人権及び精神保健センターの業務について」

講師 精神保健福祉センター上席心理判定員 吉田 敦

グループワーク「面接相談について」 ロールプレイによる演習

【2日目】

講義及びグループワーク

「久慈モデルの推進について」

助言者 精神保健福祉センター所長 黒澤 美枝

「自殺のリスク評価と相談対応について」

講師 精神保健福祉センター所長 黒澤 美枝

精神保健福祉センター職員

講義「心理判定の基礎と最近の話題」

講師 独立行政法人国立病院機構花巻病院

心理療法士 高橋 紀子 先生

★ 平成 25 年度自殺予防民間団体等イベントご案内

◆ 自殺予防民間団体等活動交流会

日時：平成 25 年 9 月 13 日(金) 会場：プラザおでつて

◆ 北東北三県活動交流会

日時：平成 25 年 7 月 20 日(土)～21 日(日) 開催地：青森県弘前市内

◆ 岩手県精神保健福祉大会

日時：平成 25 年 11 月 8 日(金) 会場：一関市文化センター

※ ミシガン国内研修

日時：平成 25 年 8 月 1 日(木) 会場：アイーナ

詳しくは、精神保健福祉センターHP で、ご案内をいたします。

関連資料の紹介

自殺予防ニュースレター増刊号(No.57 2013.2.15 発行)でもご紹介しましたが、中部保健所で作成した『うつ予防健康教育教材』についてご紹介します。

この教材は、中部保健所を中心としたワーキンググループ(北上市・遠野市・花巻市・西和賀町・奥州保健所・一関保健所)が作成したものです。「誰でも」「誰にでも」(保健師の経験を問わず、地域住民・勤労者・高齢者とどんな対象にも)をコンセプトとした、うつ病予防の健康教育に活用できる教材パワーポイントファイルです。中部保健所のホームページからダウンロード可能です。

[収録されている項目]

アイスブレイク編、クイズ編、うつ編、自殺資料編、ストレス編、家庭・地域・遺族編、産後うつ 女性編、職域編、うつネット編

心が疲れている・心の病気で悩んでいるときは…精神保健福祉センター「こころの電話相談」へご相談ください。

TEL 019-622-6955

★Twitter で岩手県精神保健福祉センターの最新情報を発信しています→ https://twitter.com/iwate_seishinhk

問合せ

岩手県精神保健福祉センター

担当：佐々木

☎019-629-9617



問合せ

岩手県精神保健福祉センター

担当：大森

☎019-629-9617

精神保健福祉センターHP



<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?ik=3&nd=422>



検索エンジン等で「うつ予防教材」と検索すると、トップに出できます。